

千里キリスト教会 主日礼拝説教

日 時 2018年03月11日

聖書箇所 ヨシュア 07:01-26

説教主題 「不従順が招いた敗北」

説教者 徳本 篤

序 文)

もし、「100万円盗まれたのと、鉛筆が1本盗まれたのとではどちらの罪が重いか」と問われたら、100万円の方だという声が大いのではないかと思います。しかし、盗まれた人がその人の親友であり、その鉛筆がお父さんから入学記念にプレゼントしてもらったとても大事なものであったなら、盗んだ人が失った友情と信頼はお金で計ることはできません。今日の聖書個所でアカンが盗んだものは繁栄していたエリコのおびただしい量の貴重品に比較すれば、それほどの金額ではなかったと思います。しかも、アカンはその全てを残らず返却しました。その処罰として一家全員が処刑されるというのはあまりに厳し過ぎるのではないかと思います。アカンの不従順が招いた事件から神は私たちに何を教えておられるのか、掘り下げみたいと思います。

本 論) ヨシュア記7章は、エリコでの大勝利のあとに起きた二つの罪の記録であり、それは互いに連動して起きていたことに注目しましょう。

第一に、勝利や成功のあとの高ぶった思いが慎重な判断を誤らせた

エリコでの大勝利はイスラエルとヨシュアにとって喜ばしいものであると同時に、人々を高ぶらせる誘惑になりました。ヨシュアは偵察から戻って来た者のことばを慎重に検証することもなく、12,000人のアイの住民を過小評価していました。その程度の相手なら兵士3000人だけで勝利できると判断しました。その結果、アイの住民の激しい反撃にあって兵士36人を失いました。兵士たちはすっかり怯え、背中を向けて逃げ帰るという惨めな状況でした。アイとの戦いでの敗北の理由について、13節で主はヨシュアに「あなたのうちに、聖絶のものがある。あなたがたがその聖絶のものを、あなたがたのうちから除き去るまで、敵の前に立つことはできない。」と言われました。この戦いに敗北した原因は、第一義的にはアカンが聖絶の品々を盗んだ罪が原因となっていますが、この罪を生んだ背景として全イスラエルがエリコでの大勝利、大成功に浮かれ、すっかりうぬぼれて、心の油断があったことを見逃すことはできません。

適 用)

私たちは何もかもが順調で、すべてが調子良く行っている時こそ、予想もしていなかったような誘惑の落とし穴が潜んでいることを警戒しなければいけません。調子よく、皆が浮かれているその時こそ、実は最も危険な時でもあることを心に刻んでおきましょう。私たちはどうでしょうか。今日、自分のたましいに「お前は大丈夫か」と問いかけてみましょう。

第二、アカンの置かれた立場が罪の誘惑と衝動を抑えられない状況をつくった

次に、アカンがどうしてこんなに大きな罪を犯したのかについて検証してみましょう。創世記49章において族長ヤコブは臨終の床から、ユダ族からイスラエルを納める王が出ることを預言して彼らを祝福しました。アカンはラハブと結婚してダビデの先祖となったサルモンと同世代でした。系図のうえではアカンも同じように尊敬される立場にありました。イスラエルがエリコを攻略する時、彼はユダ族の指導者のひとりとして兵士たちを指揮する立場にありました。兵士たちが戦っている間、彼は兵士たちが家々から次々と分捕ってきた

高価で貴重な品々を集めて監督管理する立場にあったのではないのでしょうか。21 節に「私は分捕り物の中に〇〇があるのを見て欲しくなり、」とか書かれています。アカンはその品々の中に、かつてから欲しいと思っていたバビロンのブランドであるシヌアルの美しい外套（王侯貴族が着用）一枚を見つけました。アカンは今まで見たこともないような非常に多くの銀や金や貴重な品々を目の前にして、その中のほんのわずかな銀二百シケルと、目方五十シケルの金の延べ棒一本（銀 1 シケル＝労働者の 1 日分の賃金に相当）を盗み取ったところで誰にも分からないと思った瞬間、それが欲しくなり、衝動を抑えきれなくなりました。素早くそれを自分の持ち物の中に隠し持って、自分の家の床下に埋めて隠しました。

適用)

立場が人を変え、人の心も変えることを忘れてはなりません。大きな力を与えられた人は、同時にそれを制御する力も伴わなければ、いつか暴走して自滅の道に向かいます。高い地位や人を指導する立場に立つ人も同じです。その人だけしか知らない情報や、特別な立場が自制心を失った時に誘惑になります。罪の誘惑は津波のように一瞬の衝動となって人を襲います。アカンの失敗から失った信頼と友情と尊厳をもう一度取り戻すのは簡単なことではないことを思い起こしましょう。

決断と応答)

最後に私たちが成功することより、勝利することよりもっと大事なみことばを噛みしめながら、応答の祈りをさげましょう。「神のみこころは、あなたがたが聖くなることです。」（ I テサロニケ 4 : 3）
今週も、神があなたとともにおられ、あなたも神とともに歩むことができますように。